



運命板壁画 黎明 1950年(1951年摺) 87.6×88.6cm

2025年

8月2日(土) - 9月15日(月祝)

棟方志功展Ⅰ 言葉のちから 6/14(土)~7/27(日)

棟方志功展Ⅲ 神仏のかたち 9/21(日)~11/5(火)

※それぞれの会期ですべての棟方作品の展示替えを行います。

※同展半券をお持ち頂いた方は、2回目以降、団体割引料金でご入館頂けます  
(3会期共、各種割引との併用不可)。

日本民藝館

敬愛のしるし

展Ⅱ

棟方志功

所蔵作品一挙公開



1



2



3

版画家・棟方志功（1903～1975）は、1936年に絶対的な師と仰ぐ柳宗悦（1889～1961）との運命の出会いを果たします。柳をはじめ河井寛次郎（1890～1966）や濱田庄司（1894～1978）ら民藝運動を牽引した人物たちから物心両面を支えられた棟方は、感謝の気持ちを数々の作品にして捧げました。

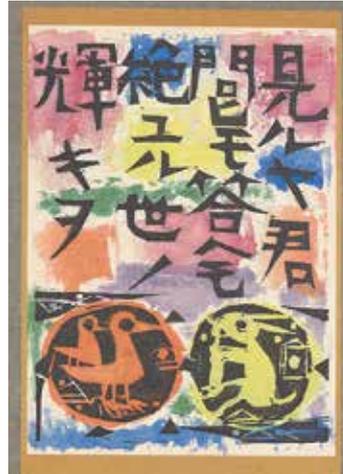
一方、板そのものへの想いを深めた棟方は、1942年に初の随筆集『板

散華』を刊行し、以降は版画ではなく「板画」と表記することを宣言しています。棟方板画大規模公開の特別展・第2章では、棟方が敬愛する師や協力者に捧げた板画と、1942年以降に制作された様々なモチーフの板画を取り上げ、万物へ畏敬の念を示した棟方の人物像に迫ります。

1. 歎異経板画冊（道祖土俵） 馬頭の櫛  
1950年 68.4×34.4cm
2. 華狩頌 1954年 137.4×163.3cm
3. 鐘溪頌 倭桜の櫛  
1945年（1953年摺） 45.5×32.7cm
4. 水谷頌・讃仏偈板画経 布施の櫛  
1959年（1960年摺） 29.8×19.9cm
5. 心偶頌 1957年 21.2×25.0cm
6. 茶韻十二月板画冊 6月 雨隣の櫛  
1956年（1957年摺） 33.8×39.6cm
7. みみずく板画冊（右幅） 1954年 30.5×26.9cm
8. いろは板画冊 1952年 各23.0前後×32.7前後



4



5



6

○記念対談

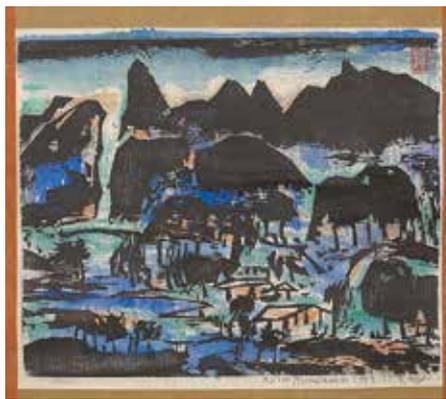
石井頼子（棟方志功研究・学芸員）  
×  
鷲珠江（河井寛次郎記念館学芸員）  
8月23日（土）18:00～19:30  
料金・1,500円（入館料別、要電話予約）

○担当学芸員による列品解説

8月10日（日）14:00～〔約30分〕  
申込不要 参加無料、入館料別

○2025年6月14日刊

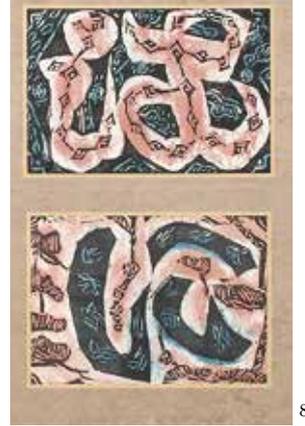
日本民藝館所蔵 棟方志功板画集  
3,300円（税込）A4横版、並製本  
棟方志功板画およそ100点を所収。



6



7



8

□月曜休館（祝日の場合は開館し、翌日休館） □10:00～17:00（入館は16:30まで）

□一般1,500円、大高生800円 □〒153-0041 東京都目黒区駒場4-3-33 □TEL. 03-3467-4527

□京王井の頭線駒場東大前駅西口より徒歩7分 □西館公開日（旧柳宗悦邸）・会期中の第2水曜、第2土曜、第3水曜、第3土曜（開館時間10:00～16:30、入館は16:00まで）

<https://www.mingeikan.or.jp/>

# 日本民藝館

次回展・所蔵品一挙公開 棟方志功展Ⅲ 神仏のかたち 9/21～11/5



関連展覧会 ○青森県立美術館 棟方志功没後50年記念展「青森の子 世界のムナカタ」 2025/7/19(土)～11/3(月) ○富山・南砺市立福光美術館 極まり知らない無尽蔵の美 棟方志功展 2026/2/28(土)～4/5(日) ○大阪日本民藝館 棟方志功と福光の風景 2025/9/6(土)～12/16(火) ※同展半券をお持ち頂いた方に、当館の「棟方志功板画集」を割引販売致します